

# 第一部

## 彩の国 JuniorENSEMBLE と春の弦楽器セミナー2017受講生による演奏

### 1. モーツァルト作曲 ヴァイオリン二重奏曲よりALLEGRO、MENUETT、LARGHETTO

Vn 島野陽菜、岡田紗弓先生

### 2. シューベルト作曲 弦楽三重奏曲 第1番 変ロ長調 D471

Vn 中村僚太 Va 衛藤理子 Vc 山崎太陽さん(演奏サポーター)

### 3. ハイドン作曲弦楽四重奏曲 第77番 ハ長調「皇帝」より第1・4楽章

Vn 1st 倉澤茉紘 2nd 上見麻里子 Va 渋谷朋花 Vc 山崎太陽

### 4. ドヴォルザーク作曲 弦楽三重奏曲 op.74

Vn 1st 吉田薫子 2nd 福山芙蓉 Va 衛藤理子

### 5. モーツァルト作曲 弦楽四重奏曲 第1番 ト長調 kv.80より第1・2楽章

Vn 1st 花田涼香、平飛鳥 2nd 渋谷帆乃花、小林里桜、政田和奏

Va 白木麻弥先生 Vc 久保田佑里さん(演奏サポーター)

### 6. モーツァルト作曲 弦楽四重奏曲 第14番 ト長調 kv.387「春」より第1・4楽章

Vn 1st 大塚みらい 2nd 大塚ゆきの Va 渋谷朋花 Vc 山崎太陽さん(演奏サポーター)

～ 休憩 ～

# 第二部

## 彩の国 JuniorENSEMBLE と11人のソリストによる演奏

### 7. プロコフィエフ作曲：ヘブライの主題による序曲

Vn 1st 藤巻陽南 2nd 中村僚太 Va 渋谷朋花 Pf 中村優理子 Cl 三浦こと美さん(演奏サポーター) Vc 久保田佑里さん(演奏サポーター)

### ソロ出演者紹介

①プログラムノート ②プロフィール



### 8. 森内祐歌 / Yuka Moriuchi

演奏曲:カミーユ＝サン・サーンス作曲 ハバナラ op.83

(伴奏:阿久津絵美先生)

①「ハバナラ」は「序曲とロンド・カプリチオーソ」と並んで、サンサーンスの最も有名なバイオリン曲です。サンサーンスが、キューバはハバナ出身のバイオリン奏者と一緒に演奏旅行をしていた1885年に、ホテルの暖炉がパチパチと燃える音で第一主題を着想したと言われています。ハバナラのリズムはこの曲の中心的な役割をになっていて、冒頭から何度も趣を変えて出現します。メランコリックな第2主題、無窮動風の第3主題が、それぞれ形をかえて、3つのテーマが組み合わさって曲が進みます。ヴィルトーゾのための技巧もたくさん取り入れられており、たくさんのバイオリン奏者がレパートリーとしてきました。今日はフランチェスカッティ校訂版を基に演奏します。  
②3歳よりヴァイオリンを始める。第35回静岡学生音楽コンクール第1位。かめらーた浜松第1回ジュニアソリストコンサートにてオーケストラと共演。現在、楢山久美氏に師事。



### 9. 羽鳥うらら / Urara Hatori

演奏曲:ヴェータン作曲 ヴァイオリン協奏曲第5番より第1楽章

(伴奏:前島七菜子氏)

①作曲者ヴェータンはベルギーに生まれ、協奏曲第5番は、1858年に友人のヴァイオリニスト、レオナールの依頼で作曲されました。古典的な中にも華やかさや甘美な旋律が散りばめられた曲です。  
②7歳よりヴァイオリンを始める。現在瀬戸瑤子、向井理子の各氏に師事。第19回全日本ジュニアクラシック音楽コンクール審査員特別賞、第15回日本演奏家コンクール第3位、協会賞受賞。今春より中学3年生。



## 10. 山中里紗 / Risa Yamanaka

演奏曲:メンデルスゾーン作曲ヴァイオリン協奏曲ホ短調 作品64より第1楽章

(伴奏者:米山多佳子先生)

①メンデルスゾーンは幼少期の頃から音楽だけでなく、絵画や学問などの多くの教育を受けて育ちました。この協奏曲が出来上がったのは着想から6年、メンデルスゾーンが35歳の時でした。そして3年後、38歳という若さで脳卒中で急逝しました。メンデルスゾーンはその短い生涯の中で750曲を越える数多くの作品をつくりました。メンデルスゾーンの協奏曲は、ベートーヴェンとブラームスに並び「3大ヴァイオリン協奏曲」と呼ばれ多くの人に親しまれています。沢山のコンチェルトの中でもこの曲は特に大好きでオーケストラと全楽章弾くのが私の夢です。哀愁たどるメロディーやカデンツァなど細かいところまで表現できるよう、がんばります。

②5歳よりピアノ、6歳よりヴァイオリンを始める。第11回洗足学園ジュニア音楽コンクール 奨励賞、第58回鎌倉音楽コンクール第3位、彩の国 String Competition 1st C 部門 審査員賞、第8回全日本芸術協会コンクール関東本選第3位、第61回鎌倉学生音楽コンクール第2位、第9回バーテン音楽コンクール全国大会5位、彩の国 String Competition 4th D 部門 優秀賞。これまでに恵藤久美子氏、現在、松原勝也、百瀬久美の各氏に師事。



## 11. 山口絢 / Aya Yamaguchi

演奏曲:イザイ作曲無伴奏ヴァイオリンソナタ 第2番イ短調 全楽章

①独奏ヴァイオリンのための無伴奏ソナタは全6曲からなり、第2番はジャック・ティボーに献呈された。グレゴリオ聖歌の「怒りの日」が循環主題として用いられている。1楽章「妄執」、2楽章「憂鬱」、3楽章「影たちの踊り」、4楽章「復讐の女神たち」、

②2歳半よりヴァイオリンを始める。第29回全日本ジュニアクラシックコンクール第1位、第24回日本クラシック音楽コンクール第5位、第3回Kアンリミテッド音楽コンクール優秀賞、第69、70回全日本学生音楽コンクール東京大会入選、第4回デザインKコンクール第3位、第3回彩の国 String Competition 優秀賞。2015年より長野国際音楽祭、かさま国際音楽アカデミーに参加。現在、澤和樹、山崎貴子、橋本洋の各氏に師事。東京藝術大学音楽学部附属音楽高等学校2年次在学中。



## 12. 兵働貴紀 / Takanori Hyoudo

演奏曲:プロコフィエフ作曲 ヴァイオリン協奏曲第1番ニ長調第2楽章

(伴奏者:米山多佳子先生)

①この楽章のスケルツォは一種の常動曲である。スタッカートやピッツィカートが交互に現れ、また、トッカータの断章、二重フラジオット、スル・ポンティチェロ(駒の近くを弾く)等のヴァイオリン奏法があり、お祭騒ぎになっていて、落ち着きがない。スル・ポンティチェロと指定された有名な部分では、ヴァイオリンの怪しい音が聴感的感興を生む。技巧的な面が強く求められる曲である。

②5歳より、スズキメソッド音楽教室にてヴァイオリンを始める。11歳より、東邦音楽大学白井英治氏、宮野陽子氏、村越麻希子氏に師事。13歳より、木野雅之氏、矢嶋佳子氏、中嶋斉子氏に師事。16歳より、田中晶子氏に師事。2014年に第1、2回みやこじま青少年国際音楽祭に参加し、イヴリー・ギトリス氏と共演。2014、2016年にウィーンフィルヴァイオリン奏者ルネ・スタール氏による公開レッスンを受ける。2015、2016年に木野雅之白馬ミュージックセミナーマスタークラスに参加。2016年にハビブ・カヤレイ氏マスタークラスに参加。2016年にユーロミュージックフェスティバル in ハレに参加。カトリン・ハーゲン氏に師事。2016年に球磨川音楽祭に参加。木野雅之氏による公開レッスンを受ける。東邦音楽大学附属東邦高等学校第3学年。

～ 休憩 ～



## 13. 藤巻陽南 / Hinami Fujimaki

演奏曲:ヴィターリ作曲 シャコンヌ

(伴奏者:阿久津絵美先生)

①トマーゾ・アントニオ・ヴィターリはイタリア ポローニャ出身のヴァイオリニスト、作曲家です。シャコンヌとは、もともとバロック時代の緩やかな三拍子が特徴の舞曲で、このヴィターリのシャコンヌは12小節のテーマから20もの変奏が続きます。その変奏の美しさとバラエティの豊かさ、効果的な変調の鮮やかさが魅力あるものとなっていますが、このバロックらしからぬ和声の大胆さゆえ、近年の研究では、この曲がヴィターリのものではないとする説もあります。祈るように弾きたいと思いますので、どうぞお聴きください。

②現在植村理葉氏、田中晶子氏に師事。彩の国 String Competition 2 ndB 部門第1位、第16回日本演奏家コンクール小学生高学年の部奨励賞(最高位)、第27回全日本ジュニアクラシック音楽コンクール小学校高学年の部奨励賞、2015年度ユーロアジアヤング国際コンクール Under12 奨励賞。彩の国学生演奏会 I 及び II に出演。第3回 JASTA フレッシュコンサートにてソリストとしてオーケストラと共演。第31回かながわ音楽コンクール神奈川新聞社賞受賞。第69回全日本学生音楽コンクール東京大会入選。白百合学園小学校 6年生。



## 14. 花田涼香 / Suzuka Hanada

演奏曲:ブルッフ作曲 バイオリン協奏曲第1番短調 op 26第3楽章

(伴奏:米山多佳子先生)

①ドイツの作曲家ブルッフが1864年～66年にかけて作曲、その後友人のヴァイオリニストであるヨーゼフ・ヨアヒムのアドバイスをを受け改訂を重ね、1868年に現在の形に完成させました。ロマン派を代表するとても人気の高い作品です。期待感を持たせるような序奏に続いて、独奏ヴァイオリンが格好良くダブルストップで精力的で勇壮なメロディを奏でて始まります。メランコリックな気分に溢れているのが魅力な曲です。

②2003年生まれ。3才からピアノ、5才からバイオリンを始める。第10回セシリア国際音楽コンクール第4位、第9回ベートン音楽コンクール第2位、第16回大阪国際音楽コンクール入選、第17回大阪国際音楽コンクールユース部門第4位、第17回日本演奏家コンクール入選、彩の国StringCompetition3rd奨励賞。ミヒヤエル・フリッセンシュラーガー氏マスタークラス受講。現在、小籠郁子氏に師事。所沢市立狭山ヶ丘中学校2年。



## 15. 大塚みらい / Mirai Otsuka

演奏曲:バルトーク作曲 ヴァイオリン無伴奏ソナタ 第1番 Sz.117より第1楽章

①ハンガリーの作曲家バルトーク・ベーラ・ヴィクトル・ヤーノシュの作品です。第1楽章にはメロノーム指示はある発想記号がなく、バッハのシャコンヌのテンポで」と言うタイトルが与えられている。また、楽章の配置や構成などがバッハの無伴奏ヴァイオリンソナタ第1番によく似ていることから、この曲はバッハへのオマージュ的な要素を強く感じさせる。そのためバッハのソナタとバルティータ全6曲を「旧約聖書」、バルトークのこの作品を「新約聖書」と呼ぶ向きもある。

②2001年生まれ。吉川朝子、水野佐知香各氏に師事。第31回かながわ音楽コンクール中学生の部最優秀賞並びに全部門を通して準大賞及び神奈川県新聞社賞受賞。第24回日本クラシック音楽コンクール全国大会第5位。第69回全日本学生音楽コンクール東京大会入選。ハマのジャック本選にてNHK交響楽団メンバーによる弦楽五重奏とソリストとして共演。彩の国StringCompetition 3rd中学生部門最優秀賞並びに全部門を通してBestQualifier賞、Oleh Krysa International Violin Competition 2016 ヤングアーティスト賞、CONCERT VIVANT オーディション優秀賞受賞。仏・パブロ カザルス国際音楽アカデミー、伊・ピエディルーコ国際音楽セミナー並びに同音楽祭に参加し現地にて多数コンサート出演、東日本大震災復興プロジェクト「千の音色でつなぐ絆コンサート」ソリスト出演。東洋英和女学院高等部2年。



## 16. 大塚ゆきの / Yukino Otsuka

演奏曲:チャイコフスキー作曲 ヴァイオリン協奏曲 ニ長調 作品35より第1楽章

(伴奏:阿久津給美先生)

①この曲はロシアの作曲家、チャイコフスキーによって作られ、ヘートウエン、メンデルスゾーン、フアームスのいわゆる3大ヴァイオリン協奏曲に本作を加えて4大ヴァイオリン協奏曲と称されることもあります。同年に発表されたフアームスのヴァイオリン協奏曲と並び、重音奏法の要求等超絶技巧をヴァイオリニストに要求する難曲です。今回弾く第一楽章は提示部、展開部、再現部、コータからなるソナタ形式となっています。

②1999年生まれ。原田幸一郎、水野佐知香、神谷美千子各氏に師事。第8回セシリア国際音楽コンクール第1位並びに審査員長賞、第16回洗足学園ジュニア音楽コンクール中学生部門最優秀賞並びに全部門を通してクランプリ受賞。日本クラシック音楽コンクール全国大会第3位。受講費免除にてヒゼティルーコ国際音楽セミナー参加、同音楽祭コンコルソ第1位。第69回全日本学生音楽コンクール全国大会入選。Oleh Krysa International Violin Competition 2016 ティプロマ、CONCERT VIVANT オーディション優秀賞受賞。ハプロカ サルズ国際音楽アカデミー受講及びコンサート出演。東日本大震災復興「千の音色でつなぐ絆コンサート」ソリスト出演。2017年東京国際芸術協会主催にてソロサイタル開催。2015年桐朋学園大学音楽学部ソリスト・ティプロマコース及び東洋英和女学院高等部入学。現在2年生。



## 17. 渋谷綾花 / Ayaka Shibuya

演奏曲:シャミナード作曲 コンチェルティーノ

(伴奏:齋藤順子先生)

①シャミナードは1857年 フランスのパリに生まれ、1944年にモナコのモンテカルロで亡くなりました。後年、レジオン・ドヌール勲章受章した女性作曲家です。今回演奏させて頂くシャミナードの「フルートと管弦楽のコンチェルティーノ」は1912年パリ音楽院の試験のための委嘱作品です。この曲は女性らしい丸みを帯びた旋律から始まり、とても綺麗な曲になっています。現在ではあまり演奏されることの少ない彼女の作品の中、群を抜いて人気があり演奏される機会も多い曲です。

②10歳からフルートを始める。沢野 茜、高久 進各氏に師事。現在、武蔵野音楽大学付属音楽高等学校2年生。



## 18. 菅原千尋 / Chihiro Sugawara

演奏曲:ベルコヴィッチ作曲「パガニーニの主題による変奏曲」

①パガニーニ(1782-1840)はイタリアのヴァイオリニスト兼作曲家ですが、特にヴァイオリンの超絶技巧奏者として知られています。パガニーニが作曲した有名な曲「24のカプリース」についてはリスト、ラフマニノフ、ブラームスをはじめとした著名な作曲家たちがピアノ曲に編曲していますが、今日はロシアの作曲家ベルコヴィッチ(1902-1972)の「パガニーニの主題による変奏曲」を演奏します。以前から大好きな曲で、それぞれの個性豊かなヴァリエーションを表現したいと思います。

②菅原 千尋、3歳よりピアノを始め、現在菅野可愛氏に師事。2014年第22回ヤングアーティストピアノコンクールにてAグループ銀賞(金賞該当なし)。2015年第17回日本演奏家コンクールにて小学生低学年の部第1位、第28回荻窪音楽祭フレッシュジュニアコンサートにて日本フィルハーモニー交響楽団メンバーと共演。2016年第24回ヤングアーティストピアノコンクールにてBグループ銀賞(金賞該当なし)、第17回大阪国際音楽コンクールにてE2グループエスポワール賞を受賞。